

令和6年度 美術科 1学年年間指導計画及び観点別評価規準

青梅市立新町中学校

学期	分野	領域	題材名 (配当時間)	学習活動	目標		観点別評価規準例					
					表現	鑑賞	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度	
							知識(知)	技能(技)	発想・構想(発)	鑑賞(鑑)	表現(態表)	鑑賞(態鑑)
1 学期	絵画 彫塑	表現 中心	P.14～15 自然の形や色を見つめて (6時間)	○自然物の造形に関心をもち、さまざまな感覚を通して捉えた自然物の形や色、質感などをもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色、材料などの構想を練る。 ○形や色、材料などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	自然物の形や色、重さや手触りなどを、さまざまな感覚を通して捉え、材料の特徴を生かしてあらわす。	作品を鑑賞し、自然の形や色をあらわすためにどのような工夫をしているのか考える。	形や色、質感などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴をもとに、自然物の美しさやおもしろさを全体のイメージで捉えることを理解している。	絵の具や粘土など、自然の形や色をあらわす材料や用具の特性を生かし、意図に応じて工夫してあらわしている。	さまざまな感覚を通して捉えた自然物の形や色、質感などをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	自然物をあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、自然の形や色をあらわすための表現の工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自然物の形や色をあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく自然物の形や色をあらわした作品の鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
			P.44～45 文字で楽しく伝える (6時間)	○デザインされた文字に関心をもち、伝える相手や伝えたい内容などをもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色、材料などの構想を練る。 ○形や色、材料などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	伝える相手と内容を考えて発想を広げ、形や色を工夫して文字をデザインする。	デザインされた文字を鑑賞して、作者の表現の意図や工夫を感じる。	文字の形や色、構成などが見る人に与える効果について理解している。	ポスターカラーなどの材料や用具を工夫して生かし、制作の順序を考え、見通しをもってあらわしている。	伝える相手や伝えたい内容などをもとに主題を生み出し、わかりやすさと美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。	デザインされた文字から、伝達の効果と美しさなどを感じ取り、作者の表現の意図や工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく形や色を工夫して文字をデザインする表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく文字に込められた表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
			P.16～17 人のしぐさを捉える (4時間)	○身近な人のしぐさを見つめ、感じ取った雰囲気や感情から主題を生み出す。 ○主題をもとに、ポーズや構図、色などの構想を練る。 ○ポーズや構図、色などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	身近な人のしぐさからその人の雰囲気や感情を感じ取り、クロッキーなどであらわす。	人のしぐさをあらわした作品を鑑賞し、作者の表現の工夫を感じる。	形や色、材料などの性質や効果や、造形的な特徴などをもとに、身近な人のしぐさを全体のイメージで捉えることを理解している。	自分のあらわしたい雰囲気や感情に合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわしている。	身近な人のしぐさを見つめ、感じ取った雰囲気や感情などをもとに主題を生み出し、全体と部分との関係などを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。	人のしぐさをあらわす作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、人のしぐさの表現に込めた作者の心情や工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく人のしぐさをあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく人のしぐさをあらわした作品から表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
2 学期	鑑賞 中心	鑑賞 中心	美術展を企画しよう (6時間)	○美術館のアートカードを利用しながら、自らテーマを設定し、企画展を計画する。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を深める。		作品のテーマを考えながら、共通項を見つけ出し、作品の理解を深める。	形や色、構図、材料などがもたらす効果や造形的な特徴などをもとに作品の共通点を捉えることで作品の理解をしている。			作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、形や色、材料などの共通点や違いなどについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。		美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく世界各国の作品の造形的な共通点や相違点を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
			P.50～51 形や材料を比べてみよう (1時間)	○カップのデザインに関心をもち、使う場面や目的による材料や形の違いなどを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を広げる。		さまざまなカップを鑑賞して、使う場面や目的による材料や形のの違いを感じ取る。	形や色、材料の違いによる効果や、さまざまなカップの機能性と美しさについて、造形的な特徴などをもとに、全体のイメージで捉えることを理解している。			さまざまなカップの目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、使う場面や目的による材料や形のの違いなどを考えるなどして、見方や感じ方を広げている。		美術の創造活動の喜びを味わい、楽しくカップを比較して、場面や目的による材料や形のの違いを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
			P.18～19 版であらわす美しさ (1時間)	○さまざまな版画作品を鑑賞し、版画ならではの表現に関心をもち、そのよさを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を広げる。		版画の作品を鑑賞し、版の表現のよさや、その美しさを感じ取る。	形や色、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、版で表現された作品を全体のイメージで捉えることを理解している。		版の表現の造形的なよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。			美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく版の表現のよさや美しさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
3 学期	デザイン や 工芸 など	表現 中心	P.26～27 見えないものをあらわす (6時間)	○抽象的な表現に関心をもち、言葉や音楽などを手がかりに主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色、材料などの構想を練る。 ○形や色の組み合わせ方や構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	音楽を聴いたときの気持ちや、言葉から受ける印象などから発想を広げ、形や色を工夫して描く。	作品を鑑賞し、見えないものを形や色であらわすための工夫を感じる。	形や色、構成や構図などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、見えないものを全体のイメージで捉えることについて理解している。	自分のあらわしたい気持ちや印象に合った材料や用具を選択し、意図に応じて工夫してあらわしている。	音楽を聴いたときの気持ちや、言葉で見えないものをあらわした作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、見えないものを形や色であらわすための工夫や作者の心情などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく見えないものを形や色であらわす表現の工夫を感じ取る学習活動に取り組もうとしている。	
			P.30～37 [特別展示室] 風神雷神 －受け継がれる日本の美 (1時間)	○「風神・雷神像」や、さまざまな絵師が描いた「風神雷神図屏風」を鑑賞し、違いやそれぞれのよさを感じ取る。 ○感じたことや考えたことを話し合い、他者の考えに関心をもち、作品の見方を広げる。		風神雷神をあらわした作品を比較して鑑賞し、それぞれのよさや違いについて話し合う。また、屏風の特性や鑑賞のしかたを理解して、作品の見方や感じ方を広げる。	形や色、材料、光などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴、屏風などの表現形式などをもとに、日本の美術文化を全体のイメージや作風で捉えることについて理解している。			風神雷神をテーマにした諸作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、それぞれの作品の共通点や違い、屏風の特性などを考えるなどして、日本美術についての見方や感じ方を広げている。		美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく日本の美術文化を鑑賞する学習活動に取り組もうとしている。
3 学期	デザイン や 工芸 など	表現 中心	P.40～43 生活をいろいろる文様 (6時間)	○生活をいろいろる文様に関心をもち、自然物や日用品の形の特徴などから主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や色、構成のしかたなどの構想を練る。 ○形や色、構成などを工夫して制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	自然物や日用品から発想を広げ、形や色を工夫して文様をつくる。	日本や諸外国の文様を鑑賞し、表現の工夫や文様に込められた願い、生活との関わりなどを感じる。	文様の形や色、構成などが見る人に与える効果について理解している。	自分の主題に応じて、制作の順序を考え、見通しをもち、材料や用具の生かし方などを工夫して、連続する文様をあらわしている。	自然物や日用品の形や色の特徴なよさや美しさを感じ取り、表現の工夫や文様に込められた願い、生活との関わりなどを考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	日本や諸外国の文様の造形的なよさや美しさを感じ取り、表現の工夫や文様に込められた願い、生活との関わりなどを考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく日本や諸外国の文様をつくる表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく日本や諸外国の文様に込められた願いや生活との関わりなどを考える鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
			P.54～55 木と親しむ暮らし (8時間)	○木工芸に関心をもち、用途や機能、使う人の気持ち、木の特性などをもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに、形や加工のしかたなどの構想を練る。 ○加工の手順を考え、見通しをもって制作する。 ○完成作品を鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取り、話し合う。	木の特徴を理解し、用途や機能、使う人の気持ちを考えて作品をつくる。	作品を鑑賞し、用と美の調和や、材料の特徴を生かした木工芸のよさを感じ取る。	形や色、材料などの性質や感情にもたらす効果や、造形的な特徴などをもとに、木でつくられた作品を全体のイメージで捉えることについて理解している。	木工芸の材料や用具を生かし、制作の順序を考え、見通しをもって工夫してあらわしている。	用途や機能、使う人の気持ちを考え、木の特徴の理解にもとづき、使いやすさや機能と美しさなどの調和を考え、表現の構想を練っている。	木工芸の目的や機能との調和のとれた美しさなどを感じ取り、材料の特徴を生かした木工芸のよさや、作者の表現の意図と工夫などについて考えるなどして、見方や感じ方を広げている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく木を使って用途や機能、使う人の気持ちを考えて作品をつくる表現の学習活動に取り組もうとしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく用と美の調和や、材料の特徴を生かした木工芸のよさを感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。